するすべての方々の、 もから高齢者まで、道路を利用

いく考えであります 心が図れる道路づくりに努めて

## 市内の少子化問題について 安全・安



いけだ **池田** 議 (谷和原中

3年) ども通っていて自然も豊か です。子どもを育てるため 市は都心にも近く、TXな と考えます。 と思います。 には最適な環境ではないか つくばみら

います。 られません。どのような宣伝、 げるのか、考えを伺いたいと思 学校がなくなってしまうのは、 手だてを講じれば、少子化を防 とても悲しいことですし、考え 自分の通っていた小学校、 中

【市長答弁

さまざまな

とても厳しい状況です。

私の母

の数も少なく、小学校の運営も

比較的少ない地域では、

子ども

す。私の住んでいる十和地区や

そのとなりの福岡地区のよう

に、周りが田んぼばかりで家が

どの住宅地が多く見られてい

が、増えているのはみらい平な

人口は増加しているようです

つくばみらい市全体の

質問 今日、

るところだけのような気がしま

要因が考えられます。 産を控えるといったこと、さら の低下、結婚しても子育てにか めといわれており、その原因 にも影響するなど、さまざまな いった不安定な採用が、 非正規職員・派遣職員の増加と に、雇用形態が正規職員の減少 かる経費など経済的な理由で出 結婚して子育てするという意識 は、女性の就労機会が多くなり、 む子どもの数が減少しているた 般的には女性が一生のうちで生 少子化の原因については、 結婚率

議事日程がすべて終了するにあたり、片庭市長からあい

化・晩婚化現象をなんとかく たっていますが、 ればならない施策は多岐にわ してまいりたいと考えています。 会いの場」の創出・創設を推進 ストに掲げた「結婚に向けた出 などについて、私は、マニフェ うまく相手に恵まれないケース い止めることだと考えておりま また、保護者の育児と仕事が たとえば、結婚したくても まずは、未婚

えております。 童クラブの終了時間を、それぞ れ夜9時までに延長したいと考 育時間および小学校の放課後児 両立できるように、保育所の保

がら進めていきたいと思います。

保護者の皆さんの意見も聞きな

員が話されたような、十和小学

このような状況ですので、議

査」のお願いをしたところです。 意見や考えを伺うため「意識調 について説明をし、皆さんのご ろです。また、保護者の皆さん ばよいか、今検討しているとこ

に、学校の適正規模・適正配置

【教育長答弁】

いては、「つくばみらい市義務教 とのことでしたが、これらにつ と福岡小学校、谷和原中学校が しているところです。 育施設適正配置審議会」を設置 なくなってしまうのではないか 議員質問の中で、十和小学校

そこで、 という基準が示されています。 学年2学級以上となる12学級以 うな学校をどのようにしていけ きたします。ですから、そのよ 校では、いろいろな点で不便を できる9学級以上が望ましい\_ はそれぞれの教科の担任が配置 上が望ましい。中学校において おいてはクラス替えが可能な各 学校の適正規模は、「小学校に 適正規模にならない学

> ありません。 うという計画は、

谷和原中学校がなくなってしま 校と福岡小学校の統廃合とか

現在のところ

のホームページに掲載予定です。 ました。当日の議事録は今後、 ※今回は議事の概要をお知らせし 市

本中学生議会は、中学生の皆さん に、模擬議会の体験を通して、市政 や市議会に対する関心を深め、 まち りへの参加意識を高めていただ 人の議員の皆さんがご質問される立

どもたちを増やすことが重要だ

少子化対策として、やらなけ

人口を増やすこと、

子

があります。

まちの活性化のた

さつがありました。

化社会について話し合ったこと

私は公民の授業で、少子高齢

いかと、とても心配しています。 学校もなくなってしまうのではな や学級数の問題から、谷和原中 ている谷和原中学校も耐震強度 出ていると聞きました。今、通っ りの福岡小学校の統廃合の話も 校でもある十和小学校と、とな

こうと、昨年度から実施し、今回で 2回目となります。私は、今日、12 派な姿を拝見しまして、あらためて感心いたしました。 問題から福祉問題、または公共施設の改善など、

であります。 本日、皆さんからいただいたご質問については、 きちんと 検証し、反映できるものは反映し、 今後の市政運営に当たっ てまいりたいと考えております。

角度から、市の姿勢を問われ、市議会同様に緊張したとこ

先ほど、答弁の中でも申し上げましたが、私は、市民との協 市民の方の意 働のまちづくりを推進してまいります。幅広く、 見をお伺いし、市民の皆さんと一緒に、誰もが快適に暮らせる 「つくばみらい市」を創ってまいりたいと考えております

私は、郷土をどうにかしたい、誇れる郷土にしたいとの 国政選挙を含め、5度選挙に挑戦しました。 が今の私を作り、あきらめたら何もできない、苦しいとき 初志を貫くという、挑戦と不屈の精神を作り上げまし

参加された中学生議員の皆さんも、 ちだと思います。今後、大人になって、いろいろと に直面することがあるでしょう。そんなときこそ、 あきらめ 自分の夢を追い求めていただきたいと思います。

11